

令和5年度 第2回高石市介護保険事業等計画推進委員会 議事録

日時	令和5年11月10日（金） 14：30～
場所	高石市役所 本館2階 正庁大会議室北
参加者	川井委員長、新海委員、柴田委員、三木委員、中島委員、嶋田委員、米谷委員、 北山委員、澤井委員 ※欠席：金谷副委員長、矢田委員、戸堂委員、平松委員、山崎委員、中尾委員
会議内容	1. 開会 2. 案件 議題1：高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画 素案について 議題2：令和5年度保険者機能強化推進交付金の評価結果について 議題3：その他 3. 閉会

1. 開会

【事務局】

それでは、お時間となりましたので、ただ今より令和5年度第2回高石市介護保険事業等計画推進委員会を始めさせていただきます。

本日は本委員会にお越しいただきまして厚くお礼申し上げます。早速ではございますが、本日配布しております資料の確認をお願いいたします。

<資料の確認>

本日の出席状況でございますが委員15名のうち9名の出席で過半数の出席を満たしておりますので、本委員会は成立しておりますことをご報告させていただきます。

なお、高石薬剤師会から中野 様、高石市社会福祉協議会から地域包括支援センター長池田 様にご出席していただき、ご意見を頂戴したいと存じますのでよろしくお願いいたします。

それでは議事進行につきまして、川井委員長、よろしくお願いいたします。

2. 案件

議題1：高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画 素案について

【川井委員長】

よろしくお願いします。

令和5年度の対面の委員会としては初めての介護保険事業等計画推進委員会でございますが、昨年と同様、皆さんの忌憚のないご意見を頂けますよう、よろしくお願いいたします。

それでは次第に従い議事を進めてまいります。議題（1）高石市高齢者福祉計画および第9期介護保険事業計画の素案について事務局よりご説明願います。

【事務局】

<高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画素案について説明>

【川井委員長】

事務局より説明がありましたが、まずはその素案につきまして皆さんからいただいたご意見を説明していただいて、それがどこに反映されているかというご説明をいただきました。

これを踏まえまして、皆さんからご質問、ご意見をいただきたいと思います。

【委員】

49ページの一般介護予防事業の実施についてです。

平成29年の4月から介護保険制度が改正された際にできた新しい総合事業で一般介護予防事業が始まりましたが抽象的な表現になっています。

現在、一般介護予防事業としてどのようなことを具体的にやられているのかご説明をお願いします。

【川井委員長】

ご質問ありがとうございます。今のご質問についていかがでしょうか。

【事務局】

介護予防の取り組みということで、介護予防や要介護状態をできる限り遅らせることであったり、要介護状態にあっても重症化を防ぐことを目的にしています。

これは運動機能の維持やコミュニティへの参加を促すことで高齢者の生活の質の向上をめざして介護予防事業の取り組みを行っているところです。

主なものとしては、高齢者の居場所づくりとして、コミュニティカフェや認知症カフェへ、市内3か所ある老人福祉センター等の取り組みを進めているところです。

その中で運動機能維持向上を目指していきいき百歳体操の提供という形で実施されているところです。具体的に老人福祉センター3苑では大体1か月の合計で200名から250名の方がいきいき百歳体操に取り組まれているという状況です。また、それ以外にも自治会からDVDの貸し出し依頼もあります。他にもNPO法人等様々なところで実施をしていただいているところです。以上です。

【委員】

ご説明ありがとうございます。

例えば助成金に関して一般介護予防事業の中から社会福祉協議会に委託して等の具体的な話を聞きたいと思っています。

【事務局】

コミュニティカフェにつきましての運営補助についてですが、我がごと丸ごとの地域づくりで実施しています。

今回新たに、ボランティアポイント事業の開始を進めているところでございます。詳細につきましては、まだ確定的な話ではありませんが高齢者の方も含めて、ボランティア活動にご参加いただきまして健幸ポイントと同じように一定のポイントを貯めていただいたら商品と交換できるような、そういったインセンティブが働くような仕組みも検討しておりますので、よろしくお願いいたします。

【川井委員長】

ありがとうございました。他にございますでしょうか。

【委員】

地域包括支援センターが実施する事業が増加するように見えますが強化するような支援を行うという理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

社会福祉協議会が相談を受けて、主に地域包括支援センターが対応いただいている状況にあります。今後も引き続き状況を踏まえながら支援の強化が必要であれば、検討していきたいと考えております。

議題 2：令和 5 年度保険者機能強化推進交付金の評価結果について

【川井委員長】

では議題（2）に進めます。令和 5 年度保険者機能強化推進交付金の評価結果について事務局よりご説明願います。

【事務局】

＜令和 5 年度保険者機能強化推進交付金の評価結果について説明＞

【川井委員長】

はい、ありがとうございます。ただいまご説明いただきました内容につきまして、ご質問をお願いいたします。

【委員】

6 割の点数が取れば平均となるという表記があります。

在宅医療介護連携というのは50%、要介護状態の維持改善の状況というのが40%、介護給付の適正化が33%、そして介護人材が21%となっています。これは今の実態かと思いますが、これからこの部分を重点的に対策、対応をやっていただけたらなと思っています。宜しくお願ひしたいと思っています。

【川井委員長】

私からもひとつ伺いします。在宅医療介護連携での 9 期での対応というところで、多職種連携研修会議・地域包括支援センターの相談窓口等の継続実施を挙げていますが、これは継続実施することにより加点が期待できるということでしょうか。

【事務局】

在宅医療介護連携の取り組みについてですが、さらに充実させて強化していく予定です。多職種の連携会議について、これまで年 1 回程度実施する形でありましたが、今年度はすでに 1 回実施し、12 月にも 2 回目を実施する予定です。医師会、薬剤師会、ケアマネジャー、介護事業所の方などが一緒に集まって議論を交わしながら、その中で出てきたニーズ等を政策の方に反映していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

【委員】

教えていただきたいのですが、この交付金は高石市にお金が入ることですよね。これは点数が下になれば交付金が減るとか、上になれば増えるという認識でよろしいでしょうか。またこの交付金の還元はどのようにされていくのでしょうか。

【事務局】

還元されるのは保険料負担分に充てられるような形になります。被保険者の方のご負担いただく保険料が軽減されると捉えていただければと思います。

おっしゃる通り、点数が上がれば上がるほど、交付金が増えるという性質のものですが、それ以外にも人口によって交付金の変動する等の制度もあります。以上になります。

【委員】

具体的に点数をどこまで上げるという目標値というのはあるのでしょうか。

【事務局】

具体的な目標値はまだ特にありませんが、なるべく点数を上げていきたいと考えております。

【川井委員長】

ありがとうございます。先ほどの議題（１）も含めてご質問・ご意見ございませんでしょうか。

【委員】

（議題（１）について）

人口推計が全国的にみても市町村でみても高齢者が増えていくという見積もりはどこも同じかと思っています。

高齢者の人たちが元気に自分の思い描いている人生を過ごせるような取り組みを目指したいと思う中で介護予防が一番力を入れないといけないのではないかと思います。介護予防事業で効果のあった事業について教えてください。

【川井委員長】

ありがとうございます。今お答えできる資料はありますか。

【事務局】

詳細については把握できていない部分がありますが第８期計画の被保険者数、要支援、要介護認定者数の見込みを立てていました。被保険者数は見込み通りの人数になっていますが、要支援、要介護認定の認定者数は実績としては人数が若干下回っているという結果が出ています。

また健幸のまちづくりの取り組みとしてウォーキングロードの整備をしました。そちらを歩いたいただき、健幸ポイントを付与しています。それにより高齢者の健康の意識が少し高まってきているように感じます。

家の中に閉じこもるより、外に出ていただいて体を動かす機会を増やしていくということは健康施策の一環として、今後継続していく方向性で進めています。

【委員】

ありがとうございます。高石市の特徴をしっかり皆様に発信してください。高石市は施策を進めることで市民の皆様が元気に過ごしてほしいという想いのアピールを頑張してほしいと思います。

ウォーキングロードの整備をされたという話もありましたので、まちづくりとしても、高齢者だけではなくて、いろんな人の出入りがあるような、楽しくて過ごしやすい街づくりしてほしいと願います。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

本当に予防になればなるほど、範囲が広がっていきますから、行政から見える範囲はやっぱり厳しくなってくると思います。普段活動されている市民の皆様方と行政で情報共有をしっかりとしながら、要所要所についてはお伺いして市民の皆様に応援していきたいと思っています。

【川井委員長】

他にいかがでしょうか。

【委員】

（議題（１）について）

先ほど質問した一般介護事業についてですが費用対効果の確認はどうされていますか。もし費用対効果の上がない事業があるのであれば提案ですが現実的に少子高齢化、子供の数がどんどん減って高齢者が増えていく中で、人口が減った状況に向けて高石市の縮小型のモデルをぜひ皆さんに市長さんはじめ職員の方にご検討いただきたい。これはあくまでも提案ですので、よろしくお願いします。

【川井委員長】

では、他の方ございませんでしょうか。その他につきまして、事務局から何かございますでしょうか。

議題３：その他

【事務局】

改めて今後のスケジュール案の見直しについてお示しさせていただきます。当初の予定では7月末に示される見込みでありました国指針等の確定版が令和5年12月末頃に示されますので、それを踏まえ、令和5年度第3回高石市介護保険事業等計画推進委員会では、今回委員の皆様からいただいたご意見とそれに対する市の検証を踏まえた案に加え、国の指針が固まることに伴い、具体的な保険料額をお示しさせていただく見込みでございます。

開催につきましては、内容に応じて皆様にお集まりいただくかどうかも含めて委員長にご相談させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 閉会

【川井委員長】

では、以上をもちまして、令和5年度第2回高石市介護保険事業等計画推進委員会をこれで終わらせていただきます。

本日は、議事進行にご協力をいただきまして本当にありがとうございました。